

中学校教育実習（附属学校 4 週間）

(4 単位)

専門 > 教育学部 > 基礎理解に関する科目等

3 年、4 年 前期

松友 一雄 (jle-labo@u-fukui.ac.jp、(2340)、1 号館 4 階 松友研究室、実務経験：学校等)

■ナンバリングコード

05-EPT-315 教育学部 学校教育課程 / 教育実習 [3 年次レベル]

■授業概要

教育実習を通して、教材研究、授業づくり・授業実践、生徒との関わりを実践的に学び、中学校教員に不可欠な知識・態度・心構え・実践的な指導力を習得する。

■到達目標

中学校での教育実習を通して、以下の資質・力量を身に着けること。

1. 教員としての責任を自覚し、良識ある態度を身に付ける。
2. 教育実習校の教育目標や学校経営方針、それらを実現するための教育活動の内実を理解する。
3. 生徒の実態を踏まえた教材研究、授業計画、授業を実践できる力量を身につける。
4. 生徒の発達段階、抱える課題を理解し、学級経営・生徒指導の方針や方法を学ぶ。
5. 学級担任や教科担任の職務を理解し、補助的な役割を担う。

■準備学習（予習・復習）等

事前・事後学習も含め、担当する授業の指導案作成、教材研究や授業づくりの準備を行う。

実習中・後の振り返りを通して、自身の課題を発見し、それをよりよい授業づくりや生徒理解につなげる。

■授業形式

【授業形式】

実習

実習校の教員による指導

■成績評価の方法

実習校の担当教員による。

教育実習校の担当教員が以下の各観点について 5 段階（S・A・B・C・D）で評価し、

その結果をもとに総合評価を行う。

1. 実習態度
2. 生徒指導と学級での指導
3. 学習指導（教材研究、指導計画の作成、指導方法・技術、事後研究会）
4. 記録及び提出物

■教科書・参考書等

実習を行う学校種・担当する教科の教科書を必ず用意すること。

また、実習中には「教育実習の手引き」「実習記録」を必ず持参する。実習記録には、その日に学んだことや反省点を含め、必要事項を必ず記入すること。

■その他注意事項等

必ず「教育実習事前指導」を受講した上で、中学校での実習に取り組む。実習終了後に必ず事後指導を受講すること。

■キーワード

教材分析 授業づくり 授業実践 生徒理解 ふり返りと課題の発見

■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニング科目

■授業形態

対面授業

■SDGs

4.質の高い教育をみんなに